

## 第8回市史編さん審議会での主な意見と回答

問 第2編の通史はいつからいつまでの時代を扱うか。

答 旧市史で掲載された先史時代から平成12年まで。

問 戦後、樺太の王子製紙関係者が移住し人口が増えた経緯があるので、製紙業に関する編を独立して設けてはいかがか。先日、このテーマで本も出版しましたので、参考文献として使っていただけると幸いです。

答 産業経済の中などに含める想定だが、全体のバランスを見ながら独立した項目立てが必要か検討したい。

問 今後の審議会は、完成時に一度開かれるのか、それとも毎年経過報告を受ける形になるのか。

答 年に2回程度開催し、その都度進捗状況を報告し、内容を確認していただきながら進めたい。

問 「ぎょうせい」が契約した執筆者が行うとのことですが、苫小牧に関する人はいるのか。また執筆者名を教えてください。また、道内で「ぎょうせい」が手掛けた市史はあるか。

答 執筆者については後ほどお知らせしたい。苫小牧出身の方も含まれている。最近では恵庭市史などを手掛けている。

問 原稿の確認・修正は具体的に誰が行うのか。また、アイヌ施策はどこに含まれるか。

答 まず全体について事務局と「ぎょうせい」が行い、各部門の内容については、庁内の担当部署に確認を依頼する。アイヌ施策については、令和元年のアイヌ施策推進法施行やウポポイの開設など重要な動きがあるので、行政や教育文化の編に含めて記載したい。

問 以前の答申では、アイヌ民族史や女性史の研究を尊重する理念を掲げた。多様性を重視する観点からも、ぜひ手厚く取り上げてほしい。

答 多文化共生は市としても力を入れている分野なので、関連付けながら記載していきたい。

問 LGBTQ+のパートナーシップ制度なども入るか。

答 もちろん記載すべき内容だと考えている。男女平等推進の施策の中に含ま

れる。

問 新しい市史の電子版も作成されるか。

答 冊子の出版と合わせて、ホームページ上で誰でも無料で閲覧できるよう掲載する予定。

問 旧市史の PDF 版について、以前から指摘のあった訂正箇所（シンボルマークの反転など）は修正されているか。

答 図の間違いなど大きな箇所は修正済み。細かい文字の間違いなどは、正誤表を付けて対応する予定。

問 審議会当日に資料を受け取っても十分に読み込めないため、事前に送付してほしい。

答 そのように対応する。

問 組版のサンプルについて、高齢者が見ることを考えると、見出しの文字は大きい方が見やすい。デザイン的にはメリハリがある方が格好良いが、目的を考えると分かりやすい（大きい）方が良い。

答 参考にしたい